議事日程第3号

令和6年 第3回 錦江町議会定例会議事日程

開会の日時
令和6年9月25日（水）
午前10時開議
開会の場所
錦江町役場本庁議場

- 日程第1 諸般の報告
1) 陳情の受理等の報告
2) 所管事務調査の結果報告
- 日程第2 議会報告第3号 錦江町議会改革推進会議調査特別委員会の
特定事件の調査の中間報告について
(中間報告について、議会改革推進会議調査特別委員長報告)
- 日程第3 発議第 2号 錦江町議会議員定数条例の一部を改正する条例について
(議員提出)
- 日程第4 議案第45号 令和6年度錦江町一般会計補正予算(第5号)について
(町長提出)
- 日程第5 議案第46号 錦江町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を
改正する条例について
(同 上)
- 日程第6 認定第 1号 令和5年度錦江町一般会計歳入歳出決算の認定について
(同 上)
- 日程第7 認定第 2号 令和5年度錦江町国民健康保険事業特別会計
歳入歳出決算の認定について
(同 上)
- 日程第8 認定第 3号 令和5年度錦江町後期高齢者医療事業特別会計
歳入歳出決算の認定について
(同 上)
- 日程第9 認定第 4号 令和5年度錦江町介護保険事業(保険事業勘定)
特別会計歳入歳出決算の認定について
(同 上)
- 日程第10 認定第 5号 令和5年度錦江町介護保険事業(サービス事業勘定)
特別会計歳入歳出決算の認定について
(同 上)

日程第11 認定第 6号 令和5年度錦江町簡易水道事業特別会計
歳入歳出決算の認定について
(町 長 提 出)

日程第12 認定第 7号 令和5年度錦江町農業集落排水事業特別会計
歳入歳出決算の認定について
(同 上)

(日程第6 認定第1号から日程第12 認定第7号まで一括上程、
審査結果について決算審査特別委員長報告)

日程第13 議員派遣の件

日程第14 常任委員会の閉会中の所管事務の調査の件

日程第15 議会運営委員会の閉会中の所掌事務調査の件

閉 会

令和6年 第3回錦江町議会定例会 会議録

召集の年月日 令和6年9月25日
召集の場所 錦江町議会議場

出席議員	1番	久保勇太	
	2番	久本晃	
	3番	厚ヶ瀬博文	
	5番	浪瀬亮祐	
	6番	染川金治	
	7番	池田行徳	
	8番	川越裕子	
	9番	小吉昭弘	
	10番	水口孝俊	
	12番	落司道子	
	13番	笹原政夫	
欠席議員	11番	中野徳義	

職務のため出席した者	
議会事務局長	菖蒲洋二

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名			
町長	新田敏郎		
副町長	有村智明		
教育長	鎌田広文		
総務課長	坪内裕二郎	住民生活課長	川路昭典
未来づくり課長	中島裕二	観光交流課長	木下勝幸
政策企画課長	高崎満広	産業建設課長	上吹越寿次
介護福祉課長	笹貫新一郎	<small>政策企画課 病院再整備対策監</small>	畠中成久
健康保険課長	宮園守	教育課長	白井寿子
住民税務課長	猪鹿倉勝志	農業委員会事務局長	坂口美智代
会計課長	藤崎みずえ	総務課財政管係長	今村学
建設課長	船迫修一	総務課総務主査	小川弘晃
産業振興課長	池之上和隆		

令和6年 第3回 錦江町議会定例会会議録

令和6年9月25日（水）午前10時00分
錦江町議会議場

	(開会・開議)
○笹原議長	皆さん、おはようございます。これから本日の会議を開きます。ここで、欠席届が11番、中野議員からありましたのでご報告いたします。
	(日程報告)
○笹原議長	本日の議事日程はあらかじめ配布いたしましたので、ご了承願います。
	日程第1、諸般の報告
○笹原議長	<p>日程第1、諸般の報告を行います。本日までに受理した陳情は、お手元に配りました陳情文書表のとおりとしましたので報告します。</p> <p>次に、錦江町議会運営に関する申合せ事項の一部変更について報告します。申合せのその他の事項の中で、議場における議員に対する敬称は、性別を問わず君または何々さんとするにしておりますが、本日から議長における議員に対する敬称は議員とすることに変更しましたので報告します。</p> <p>次に、総務厚生常任委員長から、実施しました所管事務調査の結果について、委員長から報告を求めます。9番、小吉総務厚生常任委員長。</p>
	(9番 小吉総務厚生常任委員長 登壇)
○9番 小吉議員	<p>おはようございます。それでは、所管事務の調査結果報告を申し上げます。本委員会において所管事務調査を実施いたしましたので、その経過と結果について報告申し上げます。</p> <p>1、調査事件、飼い猫、地域猫の実態と対策について。</p> <p>2、調査の経過。野良猫等飼い主のいない猫が繁殖しており、動物愛護の関係、周囲に対する危害や迷惑防止の関係からも問題になっていることから、令和5年6月7日開催の当常任委員会において、飼い猫、地域猫の実態と対策についてを調査事件とすることを決定し、令和5年度から継続して調査してまいりました。</p> <p>令和5年11月13日に全委員出席のもと所管事務調査の調査事件として、飼い猫、地域猫の実態と対策について、説明委員に健康保健課長、健康増進チームリーダー及び係長の出席を求め、本町の取組状況等を調査いたしました。</p> <p>委員から、置き餌の相談は何件ぐらいあるのかとの質疑に、置き餌については、本庁管轄範囲内で1箇所、多頭飼いで外の置き餌については3箇所把握をしているということでございました。町内でどれくらい地域猫、野良</p>

猫がいるのか実態把握が必要と考える。自治会長にお願いして各自治会に何匹猫がいるのか調査をしてはどうかとの質疑に、猫は自治会や集落を越えて移動するため、個体数の把握は難しい。実態調査についてはもう少し協議を進めていく。猫を増やさないためには、自治会・公民館単位での地域で、町の事業を活用しながら対応して頂きたい。猫の問題は自治会長を中心とした自治会に積極的に行政から働きかけて自治会で解決していくべきと考える。行政から自治会のほうに投げかけてみてはどうかとの質疑に、責任を持って管理し、周囲に迷惑をかけないように周知広報していく。自治会長への呼びかけも折を見て検討していきたいとのことでございました。

令和6年1月15日に全委員出席のもと、実際に地域猫の不妊及び去勢手術対応に取り組まれている方に参考人として出席していただきまして、地域の実態と活動内容について説明を受け調査をいたしました。参考人から、地域猫の不妊去勢手術を個人で行っていたが、町が不妊去勢手術の補助を出すということを町報で知り、自治会長に相談して自治会で不妊去勢手術を行っていくこととなったようでございます。補助制度があることを知らない町民が多い、町報に掲載されているが興味がないから読まない人が多い。飼い猫は外に出ることで猫が増えていき、餌はもらえる状態なので自然淘汰されることなく増え続けていくので、まずは飼い猫の不妊去勢手術の徹底が必要だと考えるとのことでした。

令和6年7月10日全委員出席のもと、野良猫や地域猫が多く見られる町境の五郎ヶ元地区、城元及び馬場地区の自治会を現地調査し、地域猫の実態を確認いたしました。

3、調査の結果または概要について。委員から広報紙で地域猫について特集を組んでもらう。まずは飼い猫の管理を徹底する。不適切な飼養や無責任な餌やりが罰金対象であることや、食中毒を起こし猫への危害が及ぶことを文章で伝える。かわいそうだから餌をやるということは、刑罰の対象であることを示す。なるべく短い文章で分かりやすく目立つよう伝える。絵や図、写真を利用し分かりやすく伝える。猫が近所に与える悪影響、ごみを漁る、鳴き声の騒音糞尿の被害を伝える。広報紙だけでなく防災無線でも放送するなど意見がありました。

以上のような調査結果を踏まえ、町では、動物愛護及び管理に関する法律の趣旨に基づき、飼い猫及び飼い主のいない猫の無秩序な繁殖を抑制し、周囲に対する危害や迷惑を防止することを目的として猫の不妊及び去勢手術に係る経費に対する補助金を交付しているので、まずは、飼い猫は飼い主に責任を持って管理していただき、周囲に迷惑をかけない意識を持って飼養していただくこと、また、地域猫を増やさないためには、自治会・公民館単位

	<p>の地域で、町補助事業を活用しながら対応していくことも考えられる。</p> <p>その対策として、今後も引き続き、飼い猫の管理の徹底を呼びかけや、地域猫の実態と対策について、広報紙等により広く町民に周知するよう取り組んで頂きたい。</p> <p>併せて、地域猫の課題解決に向けて、猫の不妊及び去勢手術対応の町補助金を利活用しながら、自治会や地域で取り組んで頂けるよう啓発活動に努めていくことを要望いたします。以上で終わります。</p>
	(9番 小吉総務厚生常任委員長 降壇)
○笹原議長	以上で諸般の報告を終わります。
	日程第2、議会報告第3号
○笹原議長	<p>日程第2、議会報告第3号、錦江町議会改革推進会議調査特別委員会の特定事件の調査の中間報告についてを議題とします。議会改革推進会議調査特別委員会から、議会改革推進会議調査特別委員会の特定事件の調査の中間報告をしたいとの申出があります。本件は、申出のとおり報告を受けることにしたいと思います。ご異議ありませんか。</p>
	(「なし」と呼ぶ者あり)
○笹原議長	<p>異議なしと認めます。したがって、議会改革推進会議調査特別委員会の特定事件の調査の中間報告を受けることに決定しました。議会改革推進会議調査特別委員長の発言を許します。10番、水口議会改革推進会議調査特別委員長。</p>
	(10番 水口議会改革推進会議調査特別委員長 登壇)
○10番 水口議長	<p>それでは、特定事件の調査中間報告をいたします。本町議会において、議会基本条例議会運営の基本規範と位置づける開かれた議会、町民参加の議会、存在感のある議会、信頼される議会を築くことを目的として、議会改革に継続的に取り組んでいくために議会改革推進会議調査特別委員会が設置してございます。</p> <p>その中で、本日報告する調査事件は、議員定数・議員報酬についてであります。その調査の経過と結果について報告いたします。</p> <p>調査の経過といたしましては、令和5年11月13日の本特別委員会において、議員定数・議員報酬について議会報告会で出されました地域からの意見を議会だよりに掲載することとし、また、議員定数、議員報酬について協議していくことに決定いたしました。</p> <p>12月7日には、今後の調査スケジュールについて協議し、全国の財政規模に近い町や近隣町の状況について調査することとし、令和6年9月までに結論を出すことに決定いたしました。</p> <p>令和6年3月5日第6回本特別委員会では、財政規模の近い町と比較して</p>

類似団体の議員定数・議員報酬に関する資料に基づき意見交換を行い、また、議会報告会で町民から出されました意見書を踏まえ、委員からは議員定数の削減、現状維持の両方の意見が出されました。

5月16日の令和6年度第1回本特別委員会では、議員定数10人の東串良町議会を訪問調査いたしました。いただいたご意見として、東串良町議会は議員定数10人で活動しているが、錦江町とは環境が違うので議会はそれなりの定数を判断する必要がある。議員定数を考える上では議員の守備範囲の広さや産業構造の現実問題への対応など、総合的に考えることが大切であるなどがございました。

6月7日では、全議員が意見を発言し、主な意見といたしましては議員定数が減少しても成り手がなくなるわけではない。定数が10人になってもその人数でしっかりと議員活動を行えばよい。定数は10名で成り手不足の要因緩和として、議員報酬を少し上げる。議会議員として町民の付託にどう応えるか重要である。議員が議会、委員会として一体となって行政に提言していくことが大切であり、定数は削減しても問題はないと。定数は10人に削減するが、これ以上は減らすべきではないということがございました。

8月26日には、議員定数のこれまでの調査結果を踏まえ、各議員が意見を発言し、委員11名のうち欠席、委員長を除く9名の委員が定数を2人削減すると意見となり、その結果議員定数は12名から10名とすることに決定いたしました。

また、議員報酬につきましては、これまで類似団体の議員定数等に関する資料や県議長会の議員報酬に関するアンケート調査結果資料等により調査してきたことに触れ、委員からの意見は、これからさらに議員のなすべき仕事が増えてくると考え、町民からの意見も期待も大きい。もっと若い人たちに出てきてもらわないといけないので、ある程度議員報酬の増加もないといけない。報酬を上げるのが妥当なのか、今のままでも十分なのか、いろいろな意見はあると思うが、いろんな算出方法を参考に検討したほうがよいと考える。議員報酬改定案を出されたところで、比較方法、充当方法、原価方法に加えて、勤労者世帯に世帯主定期収入等も検討され、いろいろなパターンを皆さんで揉まれて、最終的に原価方式の形にされている。私たちも今ある報酬制度、報酬額がどういったところにあるのか知る機会でもあるので、十分に検討する必要がある。近隣町とのバランスというのは住民の意識の中にはあるので、近隣を見ながら極端に上げることはできないなどの意見がございました。

9月5日の本特別委員会では、平成17年3月の合併から現在までの議員数及び議員報酬について調査し、議員定数が20名から16名、12名と変わ

ってきたこと、議員報酬は合併以後途中で、町の財政状況を考慮し引下げても引き下げることもしましたが、平成 27 年 4 月からは合併当時の額に変更されてきたことなどが確認されました。

また、議員報酬の見直しに伴う主な算定根拠といたしまして、類似団体との比較によって検討する比較方式、削減する議員分の報酬を充当する充当方式、議員も選挙で選ばれた公人ということで、首長の勤務日数に対し議員の活動日数の割合で算出し、首長の給料に掛けて導く原価方式について調査検討いたしました。委員からの意見として、今までの議員の活動日数の根拠として、今後議会と議員はどういう活動をしていくのか。計算をしていく必要があるなどとありました。

9 月 12 日本特別委員会では、令和 5 年度の議会議員の活動日数をもとに原価方式の算定モデルによる議員報酬の適正水準について調査検討し、議会、議員の活動日程に日数による比較において、全議員による、特に活動日数の多い議長や副議長等議員を除いた場合など比較したところ、どの場合においても明確な報酬額が算出されることから、議員報酬の見直し算定根拠としては、原価方式が適正であると判断し、増加幅は 2 万円が妥当であるという結論に至りました。

9 月 18 日の本特別委員会では、議員報酬について最終結論を出すことなどとなり、委員 11 人中 1 人欠席、委員長を除く 9 人により採決いたしました。その結果、議員報酬の増額見直しに 7 人が賛成であり、また議員報酬の増加見直し算定基準は全国町村議会議長会が推進推奨している原価方式とすることに 9 人が賛成、原価方式により算出された額をもとに議員報酬 2 万円増の 24 万 7,000 円とすることに 9 人が賛成し、そして、議長等役職者の報酬については、現行の議員報酬に対する比率とすることに対しても 9 人が賛成という結果となりました。

以上の結果から、議員定数については、昨今の人口減少を大きな要因といたしまして、自治会や地区公民館などと行政の協働が推し進められていることによる議員の役割が変わってきたこと、定数削減においても民意の反映や議会運営は各議員の努力によって遂行可能であること等を判断しながら、地方分権に対する議員定数について慎重に議論を重ねた結果、本特別委員会では議員定数を次期改選時から、現行の 12 名から 2 人削減し 10 名とすることに決定いたしました。

議員報酬につきましては、地域の実情や議員の活動状況、物価の動向等に応じた議員報酬の水準の在り方、また、議員分権改革による議会の役割の高まりとともに、議員の成り手確保のためや議員定数の削減に伴う守備範囲の広がりなどを考慮し、議員報酬を増額するべきであると決定し、増額幅につ

	<p>いては、最終的に原価方式による算定額が妥当だと考えることから、現行から2万円増額の月額24万7,000円が適当であると結論に至り、報酬審議会に委ねることになりました。</p> <p>本特別委員会における調査項目は、議員定数・議員報酬についてと極めて重要なテーマでございます。調査期間は約1年間と短期間となりましたが、少子高齢化と人口減少の進む本町において、適切な議員定数と次代の議員の成り手の確保のために、議員職に町民が魅力を持てるような条件整備も現職の議員の責務であることを考え、議員定数の削減、議員報酬の増額を要望するものでございます。</p> <p>以上、本特別委員会の調査事件であります。議員定数、議員報酬につきまして調査を終了いたしましたのでご報告を申し上げます。</p>
	(10番 水口議会改革推進会議調査特別委員長 降壇)
○笹原議長	お諮りします。この議会改革推進会議調査特別委員会の特定事件の調査の中間報告として報告がありました調査事件、議員定数議員報酬についての調査結果につきましては、本議会として了承することにご異議ありませんか。
	(「なし」と呼ぶ者あり)
○笹原議長	異議なしと認めます。したがって、議会改革推進会議調査特別委員会の特定事件の調査の中間報告として報告がありました調査事件、議員定数・議員報酬についての調査結果につきましては、本議会として了承することに決定しました。
	日程第3、発議第2号
○笹原議長	日程第3、発議第2号、錦江町議会議員定数条例の一部を改定する条例についてを議題とします。本案について、提案者の趣旨説明を求めます。12番、落司議員。
	12番 落司議員 登壇)
○12番 落司議員	<p>おはようございます。発議第2号、錦江町議会議員定数条例の一部を改正する条例について、趣旨説明をいたします。</p> <p>令和3年6月に、議長を除く全議員で構成する議会改革推進会議調査特別委員会を設置し、一層の議会の活性化と議会運営の効率化に向けた取組について協議を重ねております。その中の調査事件の一つとして、議員定数・議員報酬についてを設定し、昨年度から委員会での議論や調査検討を行い、議員定数の削減を行うことに決定したところであります。提出理由につきましては、昨今の人口減少を大きな要因としまして、併せて自治会や地区公民館などと行政の協働が推し進められていることにより、議員の役割が変わってきたこと、これまでの議会改革の取組により、議会運営の合理化が図られて</p>

	<p>きていること、そして、より一層議会改革と議員の資質向上に努め議会活性化を図ることで、議会に求められる機能と使命を主体的になしうる必要最小限の議員定数の確保に努めるべきであることから、現定員の 12 人から 10 人に定数を削減し、住民の理解が得られますよう議員定数の削減を行うものであります。</p> <p>なお、この条例は公布の日から施行し、この条例の施行の日以後初めてその期日を告示される一般選挙から適用するものです。議員の皆様のご賛同をよろしくお願いいたします。</p>
○笹原議長	これから質疑を行います。質疑ありませんか。
	(「なし」と呼ぶ者あり)
○笹原議長	質疑なしと認めます。
	12 番 落司議員 降壇)
○笹原議長	これから討論を行います。討論はありませんか。
	(「なし」と呼ぶ者あり)
○笹原議長	討論なしと認めます。これから、発議第 2 号錦江町議会議員定数条例の一部を改正する条例についてを採決します。この採決は起立によって行います。ご異議ありませんか。
	(「なし」と呼ぶ者あり)
○笹原議長	異議なしと認めます。発議第 2 号、錦江町議会議員定数条例の一部を改正する条例については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。
	(起立する者あり)
○笹原議長	起立多数です。着席願います。したがって、発議第 2 号、錦江町議会議員定数条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。
	日程第 4、議案第 45 号
○笹原議長	日程第 4、議案第 45 号、令和 6 年度錦江町一般会計補正予算 (第 5 号) についてを議題とします。本案について、提案理由の説明を求めます。新田町長。
	(新田町長 登壇)
○新田町長	<p>おはようございます。議案第 45 号、令和 6 年度錦江町一般会計補正予算 (第 5 号) につきまして、提案理由をご説明申し上げます。</p> <p>同議案につきましては、補正総額は 2 億 8,087 万 7 千円の増額で、累計は 83 億 51 万 6,000 円となりました。</p> <p>主な内容につきましては、歳出は、花瀬でんしろう館屋根外壁改修工事費を 5,652 万 9,000 円、同工事監理業務委託料を 357 万円、農業用施設災害復旧工事費を 4,500 万円、公共土木施設災害復旧工事費を 4,000 万円、並びに</p>

	<p>消防団用トランシーバー及び外部給電気の購入費を 234 万 9 千円、それぞれ増額するものであります。</p> <p>また、歳入につきましては、花瀬でんしろう館屋根外壁改修事業に伴います観光施設整備事業債を 5,700 万円、現年発生補助災害復旧事業に伴います災害復旧事業債を 3,670 万円、並びに財政調整基金繰入金を 1 億 4,125 万 5,000 円それぞれ増額するものでございます。</p> <p>ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。</p>
	(新田町長 降壇)
○笹原議長	これから質疑を行います。第 1 表歳入歳出予算補正、補正の歳入 14 款国庫支出金から 21 款町債までと、歳出 2 款総務費から 11 款災害復旧費まで、及び第 2 表地方債補正を一括して質疑を行います。質疑ありませんか。
○7 番 池田議員	はい。
○笹原議長	7 番、池田議員。
○7 番 池田議員	<p>11 ページの消防費ですね、備品購入費の消防用のトランシーバーの件ですが、先日のですね台風で今回の台風で、大原地区と上部地区は 3 日間停電がございまして、スマホがもう通じない状態でした。</p> <p>早くから麓地区に来るとスマホが使えましたので、大原地区なんかの伝達ですね、いろんな情報の伝達は、わざわざこの麓地区までおりにこないと会話ができないという状態でした。</p> <p>このようなときには、このトランシーバーというのがとても役立つということを知っておりますが、これまでも消防団にはトランシーバーが何台かずつ配布されておりますが、故障とか運用状況は、これまでよかったかをお示してください。それと、トランシーバーのこの距離というのはどこまでぐらい届くものかも加えてお示してください。</p>
○新田町長	はい。
○笹原議長	新田町長。
○新田町長	総務課長に答弁させます。
○坪内 総務課長	はい。
○笹原議長	総務課長。
○坪内 総務課長	<p>これまで消防団用のトランシーバーにつきましては故障等はございませんでしたが、前回の津波防災訓練のときですね、ちょっと電波が届かないというのがありましたので、令和 5 年度に遠距離用に対応したトランシーバーを購入しているところでございます。</p> <p>今回もですね、遠距離用の無線機をですね、2 台ずつ各分団と役場消防隊</p>

	<p>に設置しまして、あと近距離用のやつもありますけれども、それを含ますと各分団 10 台から 12 台保有することになります。</p> <p>もう 1 点、通信距離でございますけれども、カタログ値で申しますと市街地で約 1 km、郊外で約 1.5 km、見通しのよい場所で約 4 kmとなっておりますけれども、前回令和 5 年度に購入する際にですね、同機種で行った電波の結果につきましてはですね、役場から土木事務所跡地まで約 800m ございますけれども、そこも問題もございませんでした。あわせて国道から海岸までですね、その国道から海岸まで 400m なんですけれども、住宅地を挟んでおりましたけれども特に問題ございませんでした。以上です。</p>
○7 番 池田議員	はい。
○笹原議長	7 番、池田議員。
○7 番 池田議員	<p>停電になりますとうっかり忘れていたトランシーバーの充電とかもできませんので、しっかりとそのトランシーバーの充電はですね、各分団に行政のほうからのご指導願いたいと思います。</p> <p>次にですね、火災が起こったときにですね、各消防団にはアラートというんですか、それで通知が来るんですが、我々議員もですねあちこちからどこなのか、山林火災なのか家屋火災なのかすごい問合せが来まして、やっぱりその離れたところの火災であっても、親戚とか知り合いとかいうので駆けつけなければいけない住民の方もおられると思いますので、何とか我々にも情報が欲しいんですが何か先々そういうことに対する対策を考えておられますかを伺います。</p>
○新田町長	はい。
○笹原議長	新田町長。
○新田町長	<p>池田議員のご質問にお答えします。池田議員がご指摘されてらっしゃるのは、アラートというのは消防署から発信されるメールであるかというふうにそういう認識でよろしいでしょうか。</p> <p>まず、議員の方々への運用をそれが消防署としてですね、通知メールとして認めているのかどうなのかそこをちょっと調査をしなければなりません。私どもとしましても火災があったときに、消防団そして総務部署、住民生活部署、そういったところにはメールが来るような仕掛けになっておりますので、そこについては他の議員さん方へのメール登録というのは可能なのかどうかというのはちょっと調べてまたご回答したいと思います。以上です。</p>
○笹原議長	ほかに質疑はございませんか。
○1 番 久保議員	はい。

○笹原議長	1 番、久保議員。
○1 番 久保議員	<p>はい、総務費総務管理費でございます。交通安全対策費で 50 万、カーブミラーかと思いますが、設置数と場所を教えてくださいと思います。</p> <p>続きまして地方創生推進費で、こちらのクリエイターレジデンスの事業かと思いますが、詳細とその実施時期、また内容等詳しく教えてくださいと思います。</p> <p>続きまして商工費でございますが、今回でんしろう館の屋根工事の補正でございますが、昨年度台風等々もあったと思いますが、年間の利用実績はどのくらいおありなのかお伺いしたいと思います。</p> <p>最後に消防費でございます。外部給電気を購入されてるかと思いますが E V 用の変換器かと思いますが、この運用方法、また各避難所でも持ち込んでいいですか移動して利用できる設備なのか、お伺いしたいと思います。</p>
○新田町長	はい。
○笹原議長	新田町長。
○新田町長	久保議員のご質問にお答えします。まず交通安全対策費の関係は総務課長から、それからクリエイターレジデンスの関係については未来づくり課長から、それから商工費の関係は観光交流課長から、そして消防費の関係は再度総務課長からそれぞれ答弁させます。
○坪内 総務課長	はい。
○笹原議長	総務課長。
○坪内 総務課長	久保議員のご質問にお答えします。台風 10 号関連で倒壊やミラーの破損したロードミラーの箇所につきましてはですね、総務課で確認しているところは 9 か所ございます。それを全て、塩屋運動公園の入り口と山下集落の入り口、三共建設の向かい側のところですね、あと神川中原のところと上之宇都水源地付近、柴立自治会、また塩屋自治会ですね、あと大滝公園の入り口、厚ヶ瀬川の方がミラーと支柱の損傷しているようでございます。あと鳥井戸入り口ということは把握しているところです。以上です。
○中島 未来づくり 課長	はい。
○笹原議長	未来づくり課長。
○中島 未来づくり 課長	議員の質問にお答えいたします。クリエイターインレジデンスですが、決算審査特別委員会の中でもですね若干説明させていただきましたとおり、本年度の 11 月 23 日から 25 日までですね、錦江町ものづくりの方々を招聘いたしまして、クリエイターインレジデンスのイベントを開催させていただきました

	<p>ます。</p> <p>それに伴いましてですね今のところ、ウェブサイトのクリームさんのウェブメールマガジン等での募集を開始しましたところ、もう既にですね 24 組 31 名の方がぜひ錦江町へ来てものづくりの体験をしたいということですね、応募を頂いています。それに関わる経費を計上させていただきました。以上でございます。</p>
○木下 観光交流課長	はい。
○笹原議長	観光交流課長。
○木下 観光交流課長	<p>久保議員のご質問にお答えいたします。でんしろう館の年間の利用実績でございますけれども、令和 5 年度の利用実績のほうで回答させていただきます。年間通して令和 5 年度 2,274 名の方が利用されております。この数につきましては、でんしろう館の受付を通された数でございます。</p> <p>それとでんしろう館の中にはですね、幾つかの施設がございますけれども、利用料金を徴収している体育館、それと調理室がございます。ここにつきましては、令和 5 年度実績で 24 件ございました。利用料金については、総額 2 万 7,000 円徴収している状況です。以上です。</p>
○坪内 総務課長	はい。
○笹原議長	総務課長。
○坪内 総務課長	<p>外部給電気についてですけれども、これにつきましては EV 車に蓄えられた電気を直流から交流に変換しまして、非常用電源として活用するものでございます。EV 車はですねバッテリー容量が大きいことからですね、通常使用で長時間 3 日程度利用できるようでございます。</p> <p>また、トランクケースタイプなので重量につきましては 38 kg なんですけれども、トランクケースタイプなので持ち運びも便利でありまして、エンジン式発電機と比較して静かな動作音でございますし、排気ガスも発生しないことから環境に優しいメリットがございます。</p> <p>導入後はですね、避難所で利用することはもちろんなんですけれども、外でのイベントについてもですね、EV 車のトランクに給電を乗せて現地まで行って利用することを考えているところです。以上です。</p>
○1 番 久保議員	はい。
○笹原議長	1 番、久保議員。
○1 番 久保議員	まずロードミラーに関して承知いたしました。今年度も台風等、またいろいろ障害等で破損の場所が見受けられますので、引き続きよろしくお願

	<p>たいと思います。</p> <p>クリエイターレジデンスに関して承知いたしました。既に 30 名を超える方が応募されてるということでございますが、今後のですね、もちろん交流人口かと思いますが、こういったクリエイターの方々はサテライトオフィス数への当然入居というところも一つあるかと思いますが、今後は引き続きそういうふうな形で交流人口または将来的にまた定住人口というふうな形でですね、つなげるような取組をされるのかあわせてお伺いしたいと思います。</p> <p>続きまして、でんしろう館の実績に関して承知いたしました。2,000 名を超える方のご利用というところで、今年度昨年度でんしろう館内のキャンプ場のほうの修理も終わってくるかとは思いますが、特にこの利用の方が多いちよっと季節、主に夏場がメインかと思いますが通年通じてどのような傾向にあるのか、もし分かればちよっとあわせてお示し頂ければと思います。</p> <p>そして、最後はE V外部給電気の件に関して承知いたしました。答弁でもございましたように数日分ですね、蓄電容量がございますので、平時の利用というところでイベント利用されるというところで、非常に有効な活用方法かと思いますが。ただ一方、もし災害が起こった場合は複数か所の避難所でやはり電源を凍結するというところも考えられますので、今後もまた予算等を見ながら継続的にですね、導入の検討頂ければというふうに考えているところです。先ほどの追加質問の分をお願いいたします。</p>
○中島 未来づくり 課長	はい。
○笹原議長	未来づくり課長
○中島 未来づくり 課長	<p>質問にお答えいたします。今後の計画でございますけれども、当然活用していく方向で考えているのが学校跡地であったり空き家を活用していきたいと考えております。今後今年からですね、3年間を目標に本年度につきましてはイベントとして錦江町に来ていただいて錦江町知っていただく。次年度といたしましては次につきましては、ものづくりの期間、自分の作品をつくる期間錦江町に滞在していただくというような取組をします。そして3年目に向けてですね、2拠点なり移住なり等を考えていくような取組をやっていきたいと思っています。ちなみに今年度にもう既にですね錦江町のマンガーなりを活用した大阪で有名なジャム作家さんという方がいらっしゃるんですけども、あべのハルカス等でですね、もう商品を出してる方とコラボしてですね商品を開発していきたいなというような形で、もう初年度からそういう取組が始まっているところです。以上でございます。</p>
○木下	はい。

観光交流課長	
○笹原議長	観光交流課長。
○木下 観光交流課長	お答えします。花瀬公園、でんしろう館周辺の施設の利用状況ですけれども、まずオートキャンプ場。昨年の9月から火災があった関係で昨年の9月からですね使用をしております。徐々に利用者数が戻ってきております。過去5年間の数字を見たときに、やはり議員がおっしゃったとおり夏場の利用が多いようです。それとバンガローについてもですね、過去5年間の集計をしておりますけれども、やはり7月、8月夏休み間の利用が多いです。最近の傾向としてはですね、冬場の利用もバンガローについてはあるようです。ただバンガローについては、昨年の台風で連絡橋のほうが破損しておりますので、対岸のバンガローについては昨年夏から使用していない状況です。はい、以上のようなことです。
○1番 久保議員	はい。
○笹原議長	1番、久保議員
○1番 久保議員	<p>クリエイターレジデンスの件、承知いたしました。3か年の計画ということで、特にこのクリーマサイトに登録されている皆様はやはりその発信力がかなり強いというところもお伺いしておりますので、ぜひこの取組を強化してですね、そういった交流人口を引いては2拠点も含めた定住人口につながるようにしていただければというふうに思います。</p> <p>でんしろう館に関しては承知いたしました。もちろん夏場も多いとは思いますが今冬場も含めたですね、オールシーズンでの利活用というのが非常にやはり有効な活用の仕方だと思いますので、やはり今いろいろ観光客の動きとかも含めてもですね、こういうふうな大隅半島の花瀬までっていうところで、例えば県内でも薩摩半島の方々ともなかなかこれまでお出ましされなかったというふうなこともお伺いしておりますので、そういった呼び込みも含めてですね、通年で利用できるような形で引き続き取り組んで頂ければと思います。以上です。</p>
○笹原議長	ほかに質疑はございませんか。
○5番 浪瀬議員	はい。
○笹原議長	5番、浪瀬議員。
○5番 浪瀬議員	小学校再編統合に伴う通学、リース料ですが1か月間借りて検証されるためのものだと思うのですが、ここは何も私は問題ないんですけども、大原小学校に田代小学校までは朝夕リースということで、それから池田、宿利原はですね帰りはタクシーということですが、現時点ではですね、それいつま

	<p>です、そういう形をとられる考えでおられるのか。</p> <p>それと、リース車の場合はですね、運転者をパートでお願いされるということですが、その条件運転者ですね、条件というのはどのように考えていらっしゃるでしょうか。</p>
○鎌田教育長	はい。
○笹原議長	鎌田教育長。
○鎌田教育長	<p>浪瀬議員のご質問にお答えしたいと思います。もちろん大原小、大原地区の子どもたちを田代小学校から放課後帰すときに、車をリースとして契約する必要があります。そのために試行ということも一つあるんですけども、リースの場合は新車で契約する必要があることから、新年度の予算で契約するとともにも新学学期に間に合わないということもございまして、その辺りを重ねた上であと比較検討、金額の比較検討を重ねた上で、今年度早めに契約をしないといけないということになりまして今回補正を組ませていただいたところであります。</p> <p>今後この状態いつまで続けるかということについては、また登下校中のバスの活用、そこらあたりも大原地区の場合はあると思うんですけども、ただ保護者のご意見とか、あと子どもたちが小さいから時間的なものとか、いろいろなことを考えまして今の形で進めているところですけども、タクシーそれからリースという形で。今後子どもたちが慣れてきて、子どもたちの健康状況それから心理状況等も不安がなくなったときにはまたそのことをまた検討していくということも考えているところでございます。あと細かい点については課長から答弁させます。</p>
○白井 教育課長	はい。
○笹原議長	教育課長。
○白井 教育課長	はい、議員の質問にお答えします。リース車両の運転手の資格等については、通常の運転免許で問題ないということで聞いております。以上でございます。
○5番 浪瀬議員	はい。
○笹原議長	5番、浪瀬議員。
○5番 浪瀬議員	<p>タクシーであればですよ、プロっていうか、何かあったにしてもですね、二種免許を持ったプロが運転していると。リースの場合はですね、一般的に免許を持ってればそれでいいですよというのは事故等があった場合に大切な児童の通学にですね、もしものとき町としては何もそれで問題ないのかということだと思っておりますよ。一般の人を採用しました、パートで採用しまし</p>

	た、事故がありましたけれども保険かれこれで対応しますという、そこでです、切ればいいでしょうけれども、やっぱりちゃんとした二種免許を持ったぐらいの人を何で頼まなかったかということになりかねないのかなあという心配でちょっとお聞きしました。
○鎌田教育長	はい。
○笹原議長	教育長。
○鎌田教育長	浪瀬議員のご質問のほうにお答えというか考えを述べたいと思いますが、確かに私も学校教員ですので、子どもたちの安全それから健康面、非常に責任があるということでは、学校にも保護者にも教育委員会にももちろん肝に銘じております。その上で確かに議員のおっしゃるような、運転手をどのような資格で求めるのかということは、やはり先々子どもたちの安全には少なからず直結していくかなというふうに考えています。そういう視点でまた今私も詳しくお答えすることはできませんので、また帰ってからそのことをまた再検討しながら、子どもたちに本当に安全に、またいざというときに保障ができるように何かあったときにですね、その体制を整えていきたいと考えています。以上でございます。
○笹原議長	ほかに質疑はございませんか。
○6番 染川議員	はい。
○笹原議長	6番、染川議員。
○6番 染川議員	身障者医療事業の件で、身体障害者ここでは身体障害児でしょうか。31万育成医療が組まれてるんですが、国が2分の1、県が4分の1、町の負担が31万ということで約600万からだと思うんですが、目的が身体障害児でその障害を除去軽減する手術の治療によって確実に効果が期待できるものに対して自立支援医療費を支給するとあるんですが、個人情報もあると思うんですけれども、本当に障害があるその子どもが手術をして除去軽減できるのでこれぐらいで済むのかと思うんですけれども、どのような手術の内容なのか分かれば聞かせてください。
○新田町長	はい。
○笹原議長	新田町長。
○新田町長	染川議員のご質問にお答えします。それにつきましては、介護福祉課長から答弁させます。
○笹貫 介護福祉課長	はい。
○笹原議長	介護福祉課長。
○笹貫	染川議員のご質問にお答えします。育成医療、今議員がおっしゃったよう

介護福祉課長	に除去軽減が目的であるんですけど、手術によってはいろいろなケースがありまして、身体の方でも病院の医師の先生が意見書を書かれて、意見書の中でこういったところが子どもに対して将来軽減できるという判断で助成しております。身体障害者につながらないケースも、その除去に応じて身体障害者ではなく障害までいかないという軽減に目的でやっておりますので、今の件数で言うと今のところ3件。これが予測ができないもんですから、突然申請がこられて大学病院、市立病院で鹿屋の医療センター、そういった大きいところから手術、それに伴う通院という形で医療費の助成ということをやっております。以上です。
○笹原議長	ほかに質疑はございませんか。
○9番 小吉議員	はい。
○笹原議長	9番、小吉議員。
○9番 小吉議員	私はですね、今あの災害復旧の件で台風10号の後、大変な被害を受けたわけでございますけれども、今この件は何ら問題ないんですけども、今巷でですね、噂になってるのは交流センターで雨漏りがひどかったということで、何でまだ新築なのにそんな雨漏りがしたのかなあとというのがですね、今巷でこう出るもんだから、まだ私なんかもどうでしょうかね、なんやったらかいなということで、全然原因が分からないものですから、そこ辺のとこ若干災害復旧費とは違いますけれども教えていただければ、どういう対策をとってるおられるのかですね、聞かせていただきたいと思います。
○新田町長	はい。
○笹原議長	新田町長。
○新田町長	この件につきましては、教育課長から答弁させます。
○白井 教育課長	はい。
○笹原議長	教育課長。
○白井 教育課長	議員の質問にお答えいたします。台風時の交流センターへの雨漏りについては、施工頂いたところにも見ていただきました。原因は調査しておりますが、主には吹き込みが強かったことも考えられるかなというふうに思っております。これからはその吹き込みに対する措置をちょっと考えていこうかなというふうに思っております。以上でございます。
○9番 小吉議員	はい。
○笹原議長	9番、小吉議員。
○9番	今施工業者にも見てもらっているということでございます。それはもう当

小吉議員	然だと思えますけれど。素人考えでいけばですよ、風圧に耐えて雨漏りがしないという設計で恐らくされておるんだらうというふうに理解するわけですが、これはもう起きた後どうこう言っても始まりませんが、そこら辺のところですよ、言えばまだ4、5年ですかね、完成して。そうした場合、やっぱりまた災害復旧で町がその関係に関してはお金を支出をしないといけませんよ。お願いします。
○新田町長	はい。
○笹原議長	新田町長。
○新田町長	ただいまのご質問につきましては、総務課長から答弁させます。
○坪内 総務課長	はい。
○笹原議長	総務課長。
○坪内 総務課長	先ほど教育課長から回答がございましたけれども、今回の件につきましては、2階の会議室の雨漏りということで、それにつきましては、外からの空気孔があるんですね。空気孔から風が強かったものですから、そこから水が入ってきましたということで、その会議室の屋根とか壁とかその濡れた部分についてはですね、当時施工された業者の方が無償で改修していただくということです。空気孔から入らないようにいけんかできないのかってことなんですよ、今の構造上というか今のやり方ではどうしても空気孔は必要なんですね。それが台風の大きな雨、雨風があるときに対応できるようにどうにかできないかっていうところは検討しているところでございます。以上です。
○笹原議長	ほかに質疑はございませんか。
○9番 小吉議員	はい。
○笹原議長	9番、小吉議員。
○9番 小吉議員	対応の仕方にはそれで結構かと思えますけれども、聞くところによると2階の言え、天井の言え、あの何て言うんですか、天井板が剥がれて落ちたというようなふうに聞いたりもします。恐らくそれが落ちるぐらいだから、少々の雨じゃなくてですよ、恐らくバケツで言えば5リットルで何杯ばかり落ちたんだろうかなと私は思うんですよ。それぐらいのやっぱり流入量じゃなければ天井板落ちるっていうのは有り得ないのではないのかなと思ったりするわけです。ですからそのところはもう結果論ですからあれですが、もう言いませんけれども、とにかく慎重に、今度そういう被害が起こらないようにですね、検討していただければいいかと思えます。終わります。

○笹原議長	ほかに質疑はございませんか。
	(「なし」と呼ぶ者あり)
○笹原議長	これで質疑を終わります。これから討論を行います。討論はありませんか。
○笹原議長	討論なしと認めます。これから、議案第 45 号、令和 6 年度錦江町一般会計補正予算 (第 5 号) についてを採決します。お諮りします。議案第 45 号は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。
	(「なし」と呼ぶ者あり)
○笹原議長	異議なしと認めます。したがって、議案第 45 号、令和 6 年度錦江町一般会計補正予算 (第 5 号) については、原案のとおり可決されました。ここでしばらく休憩します。11 時 10 分から再開します。
	休憩 11 : 03 再開 11 : 10
	日程第 5、議案第 46 号
○笹原議長	それでは休憩前に引き続き委員会を再開します。日程第 5、議案第 46 号、錦江町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例についてを議題とします。本案について、提案理由の説明を求めます。新田町長。
	(新田町長 登壇)
○新田町長	議案第 46 号、錦江町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例につきまして、提案理由をご説明申し上げます。同議案につきましては、児童扶養手当法施行令の一部改正に伴い、当該条例で参照している政令条項に項ずれが発生することから関係条項を整理したいため、本条例案を提案するものでございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。
	(新田町長 降壇)
○笹原議長	これから質疑を行います。質疑ありませんか。
	(「なし」と呼ぶ者あり)
○笹原議長	質疑なしと認めます。これから討論を行います。討論はありませんか。
	(「なし」と呼ぶ者あり)
○笹原議長	討論なしと認めます。これから、議案第 46 号、錦江町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例についてを採決します。
○笹原議長	お諮りします。議案第 46 号は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。
	(「なし」と呼ぶ者あり)
○笹原議長	異議なしと認めます。したがって、議案第 46 号、錦江町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

	<p>日程第 6、認定第 1 号 日程第 7、認定第 2 号 日程第 8、認定第 3 号 日程第 9、認定第 4 号 日程第 10、認定第 5 号 日程第 11、認定第 6 号 日程第 12、認定第 7 号</p>
○笹原議長	<p>日程第 6、認定第 1 号、令和 5 年度錦江町一般会計歳入歳出決算の認定について、日程第 7、認定第 2 号、令和 5 年度錦江町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、日程第 8、認定第 3 号、令和 5 年度錦江町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について、日程第 9、認定第 4 号、令和 5 年度錦江町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計歳入歳出決算の認定について、日程第 10、認定第 5 号、令和 5 年度錦江町介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計歳入歳出決算の認定について、日程第 11、認定第 6 号、令和 5 年度錦江町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、日程第 12、認定第 7 号、令和 5 年度錦江町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定についての 7 件を一括議題とします。本件について、審査の経過及び結果について、決算審査特別委員長の報告を求めます。2 番、久本議員。</p>
	<p>（2 番 久本決算審査特別委員長 登壇）</p>
○2 番 久本議員	<p>それでは、令和 5 年度各会計決算審査委員長報告をいたします。</p> <p>令和 6 年 9 月 3 日、9 月定例会において、決算審査特別委員会に付託された認定第 1 号から第 7 号までの 7 会計の決算状況を 4 日間にわたり審査しましたので、その審査経過と結果について報告します。</p> <p>まず、9 月 3 日に特別委員会を開催し、審査の日程を決定し、9 月 6 日から 4 日間審査を行いました。審査に当たっては、予算執行は計画的かつ効果的に行われたか、事業効果が見込めるものとなっているかを主眼において審査しました。審査の結果は、日程順の報告となりますが、主なものを報告しますことをご了承ください。</p> <p>まず、認定第 1 号、令和 5 年度錦江町一般会計歳入歳出決算の認定についてですが、政策企画課では、アントレプレナーシップ教育事業は、錦江町の未来を担う子どもたちにとって大切な事業であるが、参加した中学生に意識の変化があったかとの質疑に、この事業の全戸でアンケートをとっており、8 割以上の生徒が地域のことが理解できた。地域と人のつながりが理解できた。地域の魅力、課題が見つけれられたなどの回答をしている。これに学校のゆとりの時間をどれくらい使っているのかとの質疑に、日数は 3 日間、</p>

授業の時間は 20 時間である。

次に、健康保険課では、小児科オンラインは 264 万円とあるが、どのような内容であったかとの質疑に、令和 5 年度の実績は、新規登録者 7 名で、延べの登録者が 211 名となりました。また、相談件数は 90 件で、主な内容は湿疹や熱が出たが、病院受診が必要かなどの相談でした。

次に観光交流課では、令和 5 年度から花瀬プールを指定管理にして改善された点は何かとの質疑に、昨年度台風 6 号が襲来した際、水源地が被害を受けたが、指定管理者が建設業者であったため 1 日で復旧された。直営管理であれば、数日かかるところであったが速やかに対応していただき、お盆もたくさんの方に来ていただいた。また、今年度から神川キャンプ場も指定管理となったが、こちらは電子決裁の導入、レゲエ浜祭りではソフトリンクを販売するなど直営ではできないことを考えているようである。これに今後、指定管理者の業務範囲を増やしていく考えはないかとの質疑に、花瀬公園内にはオートキャンプ場、レクリエーション村、バンガローがありますが、指定管理するにはある程度の収益が見込めないと難しいと考えるので、バンガローあたりが今後の指定管理の候補かとは思いますが、構想の段階ですので計画はございません。

次に、総務課では、自治体 D X 推進事業とあるが、本町ではどのような方向性で取組されるのか。また、保険証のマイナンバーカードへの移行もあるが、本町の普及啓発の方向性はとの質疑に、この自治体 D X の推進事業につきましては、D X に関するアドバイスを頂く業務委託である。住民税務課、介護福祉課、健康保険課の窓口を書かない窓口とするため、介護福祉課を中心に動いている。あわせて、起案書の電子決裁、文書管理、避難所受付システムの導入も計画している。マイナンバーカードを利用したデジタル普及啓発としては、あいのりタクシーと今年度から鍼灸券、温泉券の実証実験を進める。併せて 42 のサロンを回って周知を図る。

次に、介護福祉課では、自殺対策の実績について件数はどの程度か。また、就労支援組織設立に向けた取組はどうかという質疑に、自殺対策強化費実績は、昨年度延べ 548 件、その中で新規の方が 131 名で、年代では 10 代と 40 代の割合が多く、相談内容では病気、障害、生きづらさといったものが多かった。また、就労支援組織の設立については、講演や在宅アドバイザーを委託し、いろいろな案件で意見をもらいながら就労につなげていきたいと思うが、今後検討していく。これに自殺対策で 24 時間対応の相談窓口とあるが、どのような取組かとの質疑に、パーソナルサービス支援機構へ委託しており、フリーダイヤルでの電話、もしくはメール等で 24 時間対応していただいている。

	<p>最後に総括では、今年からいよいよ肝属郡医師会立病院の建設が始まります。病院側ともいろいろと協議してきましたが、町民の健康を守ることと最終的に承認したわけです。今後は、病院には次の世代に負担をかけないような形で病院経営を心がけていただきたい。両町の町長並びに執行部、そして議会議員も自分たちの税金を使って町民に負担をかけるような形で、医師会立病院に支援をしているのだということを強く思っただき、病院側とのいろいろな協議では、できるものはする、できないものは絶対できないというような毅然とした態度で協議してもらいたい。また、安定した経営ができるよう、今後は町民の負担にならないような議論をしていただき、病院が地元で支持され、愛されるようになってもらいたいと要望などの質疑応答があり、その後討論を行いました。討論はなく簡易表決の結果、全会一致をもって認定すべきものと決定しました。</p> <p>また、認定第2号から7号までの六つの特別会計については、それぞれ質疑応答を行い、いずれも討論はなく、簡易表決の結果、六つの特別会計全てにおいて、全会一致をもって認定すべきものと決定しました。以上で、委員長報告を終わります。</p>
○笹原議長	これから、委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。
	(「なし」と呼ぶ者あり)
○笹原議長	質疑なしと認めます。
	(2番 久本決算審査特別委員長 降壇)
○笹原議長	これから、案件ごとに討論、採決を行います。まず、認定第1号、令和5年度錦江町一般会計歳入歳出決算の認定について、討論はありませんか。
	(「なし」と呼ぶ者あり)
○笹原議長	討論なしと認めます。これから、認定第1号、令和5年度錦江町一般会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。この採決は起立によって行います。この決算に対する委員長の報告は認定するものです。この決算は委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は起立願います。
	(起立する者あり)
○笹原議長	起立多数です。着席願います。したがって、認定第1号、令和5年度錦江町一般会計歳入歳出決算の認定については、認定することに決定しました。
	次に、認定第2号、令和5年度錦江町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、討論を行います。討論ありませんか。
	(「なし」と呼ぶ者あり)
○笹原議長	討論なしと認めます。これから、認定第2号、令和5年度錦江町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。この採決は起立によって行います。この決算に対する委員長の報告は認定とするもので

	す。この決算は委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は起立願います。
	(起立する者あり)
○笹原議長	起立多数です。着席願います。したがって、認定第2号、令和5年度錦江町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定については、認定することに決定しました。 次に、認定第3号、令和5年度錦江町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について、討論を行います。討論ありませんか。
	(「なし」と呼ぶ者あり)
○笹原議長	討論なしと認めます。これから、認定第3号、令和5年度錦江町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。この採決は起立によって行います。この決算に対する委員長の報告は認定とするものです。この決算は委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は起立願います。
	(起立する者あり)
○笹原議長	起立多数です。着席願います。したがって、認定第3号、令和5年度錦江町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定については、認定することに決定しました。 次に、認定第4号、令和5年度錦江町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計歳入歳出決算の認定について、討論を行います。討論ありませんか。
	(「なし」と呼ぶ者あり)
○笹原議長	討論なしと認めます。これから、認定第4号、令和5年度錦江町介護保険事業保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。この採決は起立によって行います。この決算に対する委員長の報告は認定とするものです。この決算は委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は起立願います。
	(起立する者あり)
○笹原議長	起立多数です。着席願います。したがって、認定第4号、令和5年度錦江町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計歳入歳出決算の認定については、認定することに決定しました。 次に、認定第5号、令和5年度錦江町介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計歳入歳出決算の認定について、討論を行います。討論ありませんか。
	(「なし」と呼ぶ者あり)
○笹原議長	討論なしと認めます。これから、認定第5号、令和5年度錦江町介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。この採決は起立によって行います。この決算に対する委員長の報告は認

	定とするものです。この決算は委員長の報告のとおり、認定することに賛成の方は起立願います。
	(起立する者あり)
○笹原議長	起立多数です。着席願います。したがって、認定第5号、令和5年度錦江町介護保険事業(サービス事業勘定)特別会計歳入歳出決算の認定については、認定することに決定しました。 次に、認定第6号、令和5年度錦江町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、討論を行います。討論はありませんか。
	(「なし」と呼ぶ者あり)
○笹原議長	討論なしと認めます。これから、認定第6号、令和5年度錦江町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。この採決は起立によって行います。この決算に対する委員長の報告は認定とするものです。この決算は委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は起立願います。
	(起立する者あり)
○笹原議長	起立多数です。着席願います。したがって、認定第6号、令和5年度錦江町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定については、認定することに決定しました。 次に、認定第7号、令和5年度錦江町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について、討論を行います。討論はありませんか。
	(「なし」と呼ぶ者あり)
○笹原議長	討論なしと認めます。これから、認定第7号、令和5年度錦江町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決します。この採決は起立によって行います。この決算に対する委員長の報告は認定とするものです。この決算は委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は起立願います。
	(起立する者あり)
○笹原議長	起立多数です。着席願います。したがって、認定第7号、令和5年度錦江町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定については、認定することに決定しました。 日程第13、議員派遣の件を議題とします。お諮りします。議員派遣の件については、お手元に配りましたとおり派遣することにしたいと思います。ご異議ありませんか。
	(「なし」と呼ぶ者あり)
○笹原議長	異議なしと認めます。したがって、議員派遣の件は、お手元に配りましたとおり派遣することに決定しました。 日程第14、常任委員会の閉会中の所管事務の調査の件を議題とします。各

	<p>常任委員長から所管事務のうち、会議規則第 75 条の規定によって、お手元に配りました所管事務の調査事項について、閉会中の継続調査の申出があります。お諮りします。委員長から申出のとおり、閉会中の継続調査とすることにご異議ありませんか。</p>
	<p>(「なし」と呼ぶ者あり)</p>
○笹原議長	<p>異議なしと認めます。したがって、委員長から申出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。</p> <p>日程第 15、議会運営委員会の閉会中の所掌事務調査の件を議題とします。議会運営委員長から、会議規則第 75 条の規定によって、お手元に配りました本会議の会期日程と議会の運営に関する事項について、閉会中の継続調査の申出があります。お諮りします。委員長からの申出のとおり、閉会中の継続調査とすることにご異議ありませんか。</p>
	<p>(「なし」と呼ぶ者あり)</p>
○笹原議長	<p>異議なしと認めます。したがって、委員長から申出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。</p> <p>これで本日の日程は全部終了しました。会議を閉じます。令和 6 年第 3 回 錦江町議会定例会を閉会します。</p>
	<p>散会 11 : 30</p>